

# 令和5年度 新村文化祭・福祉ひろば祭り開催!!



新村の人口・世帯数	令和5年11月1日現在
世帯数	1,314 戸
男	1,501 人
女	1,597 人
合計	3,098 人



新村保育園5歳児ぞう組

11月4日・5日、4年振りに「新村文化祭・福祉ひろば祭り」が開催されました。清々しい秋晴れのもと、ステージ発表や作品展示など、サークルや地域関係団体の活動の成果が発表されました。

今年の文化祭は、『取り戻せ「楽しさ」 静から動へ！〜新村的宝を見つけよう〜』をテーマに、コロナ禍で活動を制限されていた状態から抜け出し、それぞれ自分の「タカラ」を見つけられることを願い開催されました。



芝沢小学校金管バンド



高綱中学校吹奏楽部



ハーモニックC



松本大学教育学部合奏隊



音喜楽ボーイズ



新村コーラス



ロコマイカイ



作品展示 (多目的研修センター)

## 文化祭特別講演

新村文化祭の講演会が、松本市図書館特別専門員の窪田雅之氏を講師に開かれました。一昨年、まつもと文化遺産に認定の、『里道』に因んで、「野麦街道を行きかう人と物」をテーマにお話しされました。

松本藩時代、野麦街道は飛騨高山・信濃・江戸を結ぶ政治的な街道であり、北陸・信濃の交易の街道でもあったそうです。主として「飛騨」や山村の産品等で、歩荷や奈川の牛方の活躍の支えであったとのこと。

明治に入り、筑摩県本庁松本と結ぶ政治的街道であり、また、製糸工女等の往来する道であったそうです。交易物は「鯛」、「建築材」など。

感慨深い話として、子守奉公子女教育所が旧開智学校に置かれたこともお聞きしました。

なお、冒頭に道路「元標」の扱いの話があり、事情の有無を問わず、現地にあることの大切さが述べられました。また、最後に、あたらしい郷の文化

財や習俗等を楽しむ、文化遺産の「浴」のスズメが語られました。



防災フェスティバル初開催

10月29日、松本大学を会場に「にいむら防災フェスティバル2023」が初めて開催され、約100名の参加者が防災に関する各種体験をしました。

このイベントは地区の運動会に代わる行事として企画され、「楽しく防災を学ぶ」をコンセプトに、簡易担架作りや大声競争、災害時に役立つ防災グッズ作りなどを体験しました。屋外では渚消防署と消防第11分団の協力のもと、はしご車の乗車体験や防火衣の着用体験などが行われました。

また、今回のイベントでは市社会福祉協議会の「お助けキャラバン隊」の協力のもと、炊き出しで豚汁の提供がありました。住民の方を中心に、準備から提供までスムーズに行うことができました。

参加者には記念として防災グッズの提供もあり、防災に触れる有意義な一日となりました。



気を付けてゆっくり運ぶ



見上げるほどの高さ

ものぐさ大学

大人の社会見学 『日本の電波天文学の聖地で宇宙について学ぶ』

9月13日、参加者30名で野辺山宇宙電波観測所を訪れました。野辺山の広大な敷地には高さ50m、直径45mの巨大な電波望遠鏡を中心に、大小様々な観測計のアンテナが何十基も設置されています。日中は空を見上げて星を観ることはできませんが、星が発する電波を捕らえて観測しているのが電波望遠鏡です。宇宙には光を出さない低温のガスや塵が漂っていて、この中には星の材料や生命のもとになる物質が隠されていると考えられています。電波の観測によって宇宙の謎を解き明かす「電波天文学」の研究が進められています。実際、ここでの宇宙電波の解析によって、世界で初めてブラックホールなどの成果を上げているとのこと。併設されている南牧村農村文化情報交流館のドーム型シアターでは、最新の高性能3D映像を鑑賞し、宇宙の神秘的な美しさを臨場感たっぷりに体験することができました。



大迫力の電波望遠鏡

ものぐさ太郎祭り

10月1日、30回目となる「ものぐさ太郎祭り」が開催されました。雨あがりのため、公民館で式典等を行い、4年振りの餅投げはJA新村支所で行われました。



大人気の餅投げ

多くの人が楽しみに押し寄せた餅投げ、ものぐさ太郎が地頭に拾わせようとした「出世餅」を夢中になって拾って袋に入れ、満足げな笑みがかぼれていました。

弾ける大学祭

10月14日、15日に、松本大学で梓乃森祭が行われました。台風による中止やコロナ禍の影響もあり、一般公開での梓乃森祭は2018年以来の開催でした。

当日は学生の各団体による模擬店や活動紹介、発表に加え、お笑い芸人やアーティストのライブもあって多くの学生や一般の人々で賑わいました。

後夜祭では梓乃森祭の主催団体による抽選会や、タレントのフワちゃんが登場するサプライズ、そして打ち上げ花火で久しぶりの梓乃森祭が盛大に締めくくられました。



夜に咲いた打上花火

松本大学バスハイク開催!!

10月28日、松本大学地域づくり考房「ゆめ」企画のバスハイクが開催されました。参加者は34名(学生7名、地域23名、教職員4名)で、「サントリー天然水北アルプス信濃の森工場」、「大町山岳博物館」、「八坂金太郎乃湯明日香荘」、「道の駅安曇野松川」を巡りました。文化的施設では、普段は見聞きできない様々なことを学ぶことができ、明日香荘では北アルプスで育まれた綺麗な水を用いたお蕎麦を食しました。また、道の駅は、安曇野市の特産品で溢れており、そこで各々、惹かれる商品を買ったことができました。



慰労会も行われ、選手は当日のプレーを振り返りながら楽しいひと時を過ごしました。



10月8日、松本市市民スポーツ大会「秋季大会」の地区対抗競技が開催されました。令和元年には台風で中止となり、その翌年からは新型コロナウイルスの影響で中止や規模縮小となっていました。総合順位を競う形での開催は5年ぶりで、新村地区はソフトバレーと野球に参加しました。夕方から